

目的：ムダな養分の浪費を防ぐ

方法：新梢基部や、先端部の花蕾を摘む
果梗が枝分かれした側蕾も摘む
明らかに変形している花蕾は摘む（扁平など）

注意事項②：残す蕾は大きく充実した物とする。

最終新梢長と着蕾数：10cm 以下・・・0個
 ～30cm・・・1～2個
 ～90cm・・・2～4個
 90cm 以上・・・3～4個



摘蕾前



摘蕾後
(側蕾は摘む)

2. 人工授粉の準備

⇒種子を多く入れ大玉生産を！！

- ① 雄花を採る：風船状になったものを採取する
- ② 葯落とし：葯落とし機を利用する（日野集荷所）
- ③ 開 葯：天気が良ければ常温で行う（20～25℃）
＊概ね24時間を目安とする
- ④ 保 管：封筒などに花粉を入れ、茶筒（缶）に乾燥剤と一緒にに入れて密封しておく



⑤授粉に際して

- ・ 通常は7倍程度に希釈する。石松子：花粉＝6：1
- ・ 混和は花粉精選機またはフルイ(80～100 メッシュ)で
- ・ 希釈した花粉は発芽率が低下しやすいため早急に使用
- ・ 約 40 本の柱頭にムラなく花粉を付着させる
- ・ 開花から約3日間は授粉可能
- ・ 花粉の発芽適温は 20～25℃、なるべく午前中に授粉
- ・ 10aあたり花粉使用量・・・花量で 10～15kg(成木)

3. その他

- 花粉精選機・・・日野集荷所に設置
- 石松子・・・1袋80g（@1,041円）
- 除草・・・根元は常にきれいに。主幹に害虫が入る原因になります。
- カイガラムシ防除・・・特報を参照。
- 乾燥対策・・・乾燥に弱いため、敷きワラ・敷き草を行なう
長い期間降雨がない場合はかん水を実施

4. 今後の管理

- 開花期（5月下旬）・・・人工授粉
- 落花10日後～・・・予備摘果
- 6月中旬～・・・仕上げ摘果
- 6月下旬～6月末頃・・・フルメット処理